

★ リンクピッチの () 内は基本寸法を示す

モデル名

D20A-8E0

D20P-8E0

D20PL-8E0

D20PLL-8E0

D21A-8E0

①

■ 点 検

警 告

2人で作業し、運転者は作業者の合図に従って車両を動かしてください。とくに測定中は絶対に動かさないでください。履帯の張りの点検は車体を上げて行うので、点検時、誤って車体を落下させると非常に危険です。

ゴムシューの継目部（M印）を車軸間中心上側にして、ブレードで車体を上げ、スプロケットから3番目のトラックローラ踏面と履帯のローラ転動面とのスキマが15～20mmあれば標準です。

25mm以上になっていたら、張りの調整が必要です。

M印

15～20mm

点検姿勢

②

■ 点 検

平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を右図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロウサとの間が中央で20～30mmあれば標準の張りです。

標準の張りでないときは、つぎのように調整してください。

20～30mm

③

オイル封入履帯

シングル履帯

湿地シュー

③

乾式履帯

シングル履帯

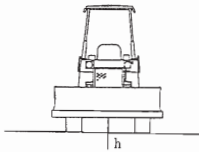
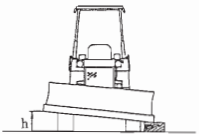
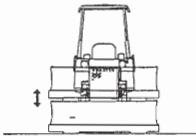
No.	項 目	判 定 基 準	
1	リンクピッチ	基本寸法	許容限度
		135.25	138.2
13	レギュラボルト 締付トルク	初期:68.6±9.8Nm (7±1kgm). 増締め角:90±10°	
14	マスタボルト 締付トルク	初期:68.6±9.8Nm (7±1kgm). 増締め角:180±10°	

No.	項 目	判 定 基 準	
1	リンクピッチ	基本寸法	許容限度
		135.25	—
15	シューボルト 締付トルク	初期:68.6±9.8 Nm (7±1kgm). 増締め角:90±10°	

D21P-8E0

D21PL-8E0

④

項 目	測 定 条 件	単位	基 準 値 (新 車)		故障判定 基 準 値	
			D20 -7	D21 -7	D20 -7	D21 -7
ブ レ ード	 ★ブレード地上から 300mm	mm	100		100	
ブ レ ード チルト (チルト時本体降下量)	 ★ブレード側端をブロックに乗せてチルトで車体をいっばい上げる。 ・上記の姿勢からブレードの降下量 h を測定する。 ・水平・平坦地 ・レバー中立 ・エンジン停止 ・作動油温：40～60℃ ・セッティング直後に測定開始 ・15分間経過後の降下量を測定する。		50		50	
⑤ ブ レ ード (PAT 車) ・接 地 ↓ 上 昇 順	リフト	上 げ	1.8		1.8	
		秒				